



2023年 7月 第132号

産業文化通信

JCI産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



本年4月10日に政府有識者会議で「技能実習制度廃止」の叩き台が示されました。技能実習に関わる全ての方々を震撼させるセンセーショナルなニュースに、組合員様から「実習生は無くなってしまうの?」、「現在うちにいる実習生は全員帰国する事になるの?」と、多くのお問合せを頂きました。

本号では5月11日に発表された中間報告から読み取れる事項を、組合の予想を加え解説して参ります。

技能実習制度は廃止でなく、発展的解消!

現行の「技能実習制度」の目的は「人材育成による技能等の移転による国際協力の推進」ですが、日本の少子化における労働力不足は大きな問題であり、今迄も制度の目的と実態の乖離が取り沙汰された報道もありました。(企業などで働く担い手の不足は2040年には全国で1100万人余りにのぼると予想されており、働き手がない事による会社の閉鎖など深刻な問題が起きる可能性が示唆されております。正に由々しき事態です。)

この事態を踏まえ、「実習生を労働力として正面から認め、長く日本で生活者として暮らせる仕組みを考えるべきだ」、「実習制度廃止した上で、実態に合わせて国内産業の人材確保の制度として再出発することが必要だ」との意見が上がり、それらを踏まえ、現在の技能実習制度をより実態に即した制度として新たに運用・活用するべきだとの議論がなされたという流れでございます。

1. 技能実習制度は廃止になり、実習生の受入れはもう出来なくなるの?

マスコミの報道で「廃止」と騒がれましたが、技能実習制度は解消されて別に新たな制度ができ、今までの制度を継承していく形になる予定です。

